

## 事業実績書

事業名	キミヒロック in 中央公園	
場所	沼津中央公園	
期間	平成29年4月3日 ~ 平成29年8月31日	
	実施項目・作業項目	
事業内容	<p>●実施内容</p> <p>静岡県東部（主に沼津市）を拠点として活動している演奏家・パフォーマーのほか、音楽教室に通うレッスン生等の活動発表の場を「沼津文化交流祭」と称して7月15日（土）・7月16日（日）の2日間で開催し音楽を通じたまちづくりを推進した。</p>	
	出演者	
	飛龍高校太鼓部	和太鼓
	とらいあんぐる	バンド
	らふらわー	バンド
	にゃもし	ダンス
	東京昭和ベイビーズ	オリジナルロック
	しまっぺいみやっぺい	弾き語り
	彩雲	二胡演奏
	新井 圭	弾き語り
	貝殻's	バンド
	佐藤鶴山塩浦	バンド
	うすくら屋	漫才
	ラーハーラフラダンス	フラダンス
	Jazz & Fusion 研究部	ジャズ
	Sun Dollars	ロカビリー
	スタジオSHINE	ベリーダンス
	cheer up	ガールズユニット
	Y's Dance Space	キッズジャズダンス
	富士36	よさこい×ブレイクダンス
	坂倉楓	弾き語り
	THE FLYING POSTMAN	バンド
	スターキッズ	チアダンス
	まぜごはん	バンド
	浜剣	けん玉
	グリーンピース	親子漫才
	hummingbird vocal school	歌
	Lotus Flower+にれんじゃー	ギターソング
	MISUNDERSTAND	バンド
	One Night Stands	バンド

## 出店者(主なもの)

ASOBody で遊ぼ!	フェイス&ボディペインティング
似顔絵屋 Tomomi	似顔絵屋
実季楽農園	戸田産有機野菜の直売
Yotsuba	手編み雑貨・アクセサリ
RoungeLunch RealBBQ	BBQ 販売
タロットカード占い TOMO	タロットカード
憩い処 純	レース&アクセサリ
Makyo craft works	シルバーアクセサリ
Iris	耳つぼ、手相リーディング
アロマ空間 Mellow	耳つぼジュエリー
まめきゅう	カフェ・ドリンク
小さなポケット	シフォンケーキ
サクラヤ	富士宮焼きそば ホルモン
ハタトハネ	雑貨
Chai&craft	雑貨
ファミリー整体院 smile	炭酸整体
メロンちゃん	メロンパン
臍引き屋	整体
あさひ	ジャークチキン
ちやる麺	ラーメン
2mind club	縁日コーナー
フリマドンナ	ハンドメイド
茶畑るり	似顔絵
山口しいたけ	椎茸販売
移動珈琲ぱちぱち	珈琲販売
流民	ドクターフィッシュ
Tecopa	ドリンク
Ray of sunshine	ステンドグラスローズ
麺屋台かじまや	ラーメン
ふくらしや	箱根じゃがいも
岡村海苔店	オリジナル味付け海苔
味人	お好み焼き
Atelier ToMcat	ステンドグラス作品
SARAEBO	たこ焼き 削りいちご
RAZZ MATAZZ	Vintage clothing

## ●周知方法

## チラシ(別紙2種)

- ・ 出店募集チラシ 1,000 部  
→沼津市及び周辺市町の関係各所に配布
- ・ イベント開催チラシ 8,000 部  
→沼津中央公園近隣店舗・住宅へ配布  
さらに沼津市幼稚園協会を通じ、沼津市の全幼稚園に配布
- ・ FB：特定非営利活動法人キミスタ アカウンドにおいて周知
- ・ HP：特設ページを開設し、開催を周知
- ・ ラジオ放送：コーストFMに計4回出演し開催を周知
- ・ テレビ：ケーブルテレビ「トコちゃんワイド」に出演し開催を周知
- ・ 新聞：7月12日付の静岡新聞勇敢にてイベント内容の周知
- ・ 広報ぬまづ：7月1日号広報ぬまづにて周知

●スタッフ配置・役割分担・協力団体

別紙実行委員会組織図参照

●協力団体

すみやグッディ様、MUSIC LA FESTA 様、沼津プロレス様、VANGURD 様  
 (株)いさわや様、Nステ様、TECOPA 様、KOSSETSU レコード様、スタジオ SHINE  
 様、浜剣様、園田バンド研究所様、メンタルクリニックあゆみ橋様、沼津グ  
 ランドホテル様、大島総業様

●製作物

沼津文化交流祭 Tシャツ 250枚 (販売・スタッフ配布)  
 手ぬぐい 900枚 (販売・スタッフ配布)

Tシャツ



てぬぐい



事  
業  
内  
容

ステージ

ステージのレンタル費用が高額であることから自前で製作

施工中



施工後



練り歩き隊

沼津文化交流祭におけるオリジナルテーマソング（沼津文化交流祭音頭）を  
 参加者による生演奏で会場内を練り歩いた。

練習中



本番



	<p>●来場者の状況  来場者のカウントも兼ね、うちわ2,000枚を会場にて配布。  2日目の夕方前には用意していたうちわが配布終了となったことから、2,000人以上の来場者があったものと思われる。</p> <p>●課題  公園の電気を使用することが出来なかったため、発電機を設置し音響・照明・各電気器具を稼働させたことにより、想定以上にガソリン代を使用した。</p>
<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内では数少ない音楽イベントであることから、非常に多くの出演者・出店者の応募があり、音楽イベントのニーズの高さを再認識することができた。</li> <li>・ 老若男女を問わず、様々なジャンルの出演があり、それぞれの出演者に対する市民の認知度も向上したものと考えている。</li> <li>・ 日大三島 Jazz&amp;Fusion 研究部の部員をはじめ、多くの市民の協力により事業実施に至ったことから、市民で作り上げた音楽イベントとして、次年度以降も継続実施していく目処がついた。</li> <li>・ 屋外イベントにおいて、最も費用が嵩むのがステージの設営費用である。このステージについては、不要になった資材を調達し、建築士・足場職人・屋根職人の協力を得て自前で調達を行ったことにより、同イベントの実施において費用の軽減化を図ることができた。  同ステージについては、既に見学に来た他団体から貸し出し依頼の打診を受けており、本事業の資金調達が可能な副産物となった。</li> </ul>
<p>今後の活動予定</p>	<p>次年度開催に向け、周知方法等の課題を改善するよう検討を進めていく。  また、ステージの貸し出し等、本事業の副産物が収益につながってきていることから、これらを活用した自主財源の確保に努め、継続的な運営体制の整備に努めていく。</p>
<p>自己評価</p>	<p>結果的に、当初の計画より大規模な音楽イベントとなってしまったが、多くのスタッフの協力により事故なく実施することができた。  想定よりも多くの出演者・出店者からの依頼もあり、同イベントに対する期待も大きいものと想定される。  しかし関係機関等からは、事前周知をより徹底するようアドバイスをいただいていることから、次年度は周知方法を検討し、より多くの市民に参加していただく仕組みを検討していきたい。</p>